

編集後記

『臨床心理学部研究報告』第4集は論文3篇、研究ノート1篇、報告2篇と、分量からすれば結果的に前号・第3集とは比ぶべくもない厚さではあるが、収録された論文のクオリティやそこに投入されたエネルギーは高水準を保っている。このうち院生の論文が1編、報告が2篇あり、フレッシュな風を注ぎ込んでくれている。

「紀要」という編集物は、ともすれば厳正なピアレビューがなされない一級下の学術誌と見なされがちである。しかし本誌の編集に携わって感銘を受けたのは、査読委員の「あくなき真理追究」への真摯な態度と厳しさであった。一般学術誌にひけをとらない厳格な査読制度が実現されており、これは本誌の誇りとするところである。査読委員に心から感謝するとともに、時には火花が散るようなやりとりを経て、最終稿の形にまとめ、貴重な知見を分け与えて下さった執筆者に敬意を表したい。

多様な視点やアプローチが可能な臨床心理学であるからこそ、相互の批判と理解に開かれていることが望ましい。本誌が引き続きそのような場として活力を持続することを願っている。

執筆者紹介(掲載順)

岡田 康伸	京都文教大学臨床心理学部・臨床心理学科・教授
吉村 夕里	京都文教大学臨床心理学部・臨床心理学科・教授
佐藤 安子	京都文教大学臨床心理学部・臨床心理学科・教授
清源 友香奈	京都文教大学大学院臨床心理学研究科・博士後期課程
堀内 詩子	京都文教大学臨床心理学部・臨床心理学科・助教
河嶋 珠実	京都文教大学大学院臨床心理学研究科・博士前期課程
依田 良子	京都文教大学大学院臨床心理学研究科・博士前期課程

2011年度 編集委員会

*名取 琢自・濱野 清志・細越 寛樹・正木 大貴 *編集委員長

陸 君 (英文校閲担当)

京都文教大学 臨床心理学部研究報告 第4集

平成24年3月20日 印刷

平成24年3月31日 発行

発行 京 都 文 教 大 学

〒611-0041 京都府宇治市横島町千足80

電話 (0774)25-2400

印刷 株式会社 田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麴屋町東入石不動之町 677-2

電話 (075)-343-0006